



平成 27 年 11 月 12 日

各 位

会社名 東亜バルブエンジニアリング株式会社
代表者名 代表取締役社長 唐澤 裕一
(コード：6466、東証第二部)
問合せ先 管理本部長 飯田 明彦
(TEL. 06-6416-1150)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 12 日開催の取締役会において、以下のとおり、平成 27 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 26 年 11 月 12 日公表)	前期実績 (平成 26 年 9 月期)
基準日	平成 27 年 9 月 30 日	平成 27 年 9 月 30 日	平成 26 年 9 月 30 日
1 株当たり 配当金	40 円 00 銭	－ (未定)	15 円 00 銭
配当金総額	93 百万円	－	35 百万円
効力発生日	平成 27 年 12 月 24 日	－	平成 26 年 12 月 22 日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

2. 理由

当社の利益配分は、過去の持株会社体制によって培われたグループ経営の手法を活かし、経営資源の最適配分による効率的な活用で最大限の利益を生み出し、安定した配当を実施することを基本方針としており、株主様に長期・安定的に株式を保有いただけるような配当政策を実施しております。

当期の連結業績は、売上高、利益ともに前期に比して大幅に改善し、特に当期純利益は 6 億 94 百万円（前期は 11 億 50 百万円の赤字）を計上し、営業キャッシュ・フローも 13 億 66 百万円のキャッシュ・イン（同 2 億 47 百万円のキャッシュ・アウト）とすることができました。

ただこれらの業績は、再稼働準備の過渡的状況にある原発マーケットを背景とした、いわば一時的な側面を要因とする部分があることは否めず、必ずしも、継続的且つ安定性の高い経営環境が整ったことによるものではないと考えております。そのため、当社グループといたしましては、引き続き攻めの経営を進める一方、市場縮小に的確に対応できるコスト体質改善に今後とも全力で取り組んで参ります。

については当期の配当は、以上御説明の背景があるとはいえ、当社の配当方針に沿い、当期の業績に鑑み、25 円増配し普通配当を 40 円とさせていただきます。その他詳細については上記記載のとおりといたしますのでご参照ください。

以上